【1羽田線（東品川桟橋・鮫洲埋立部）更新事業の概要】

■経緯

1羽田線（東品川桟橋・鮫洲埋立部）は、1964（昭和 39）年の東京オリンピック開催等の社会的要請から、用地買収が必要ない海上部に建設され、1963（昭和 38）年の開通から 50 年以上が経過しました。

日々、点検・補修を行っていますが、1 日平均約 7 万台の利用がなされている過酷な使用状況や京浜運河内の海水面と高速道路構造物が極めて近い等の激しい腐食環境などから、コンクリートの剥離や鉄筋の腐食等の損傷が多数発生しており、長期的な安全性を確保する観点から、道路構造物の更新（造り替え）が必要となりました。

そのため、この区間を長期耐久性・維持管理性・走行安全性に優れた構造に造り替えています。

■事業箇所

■1 号羽田線（東品川桟橋）損傷状況

コンクリート床板の損傷

主桁の損傷

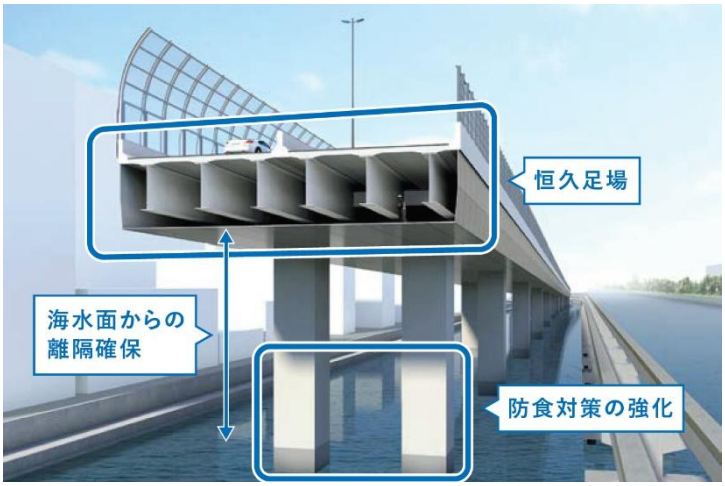
■事業内容

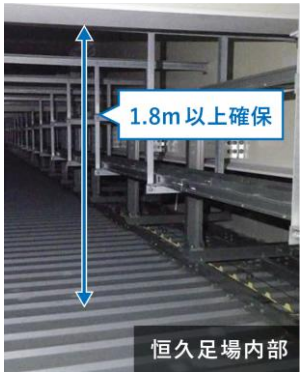
東品川桟橋区間

・海水面から一定程度離れた高架構造に更新します。

・景観性に配慮した常設の足場（恒久足場）を設置し、維持管理性に配慮しています。

・橋脚の防食対策を実施し、腐食損傷に対する長期耐久性を確保します。

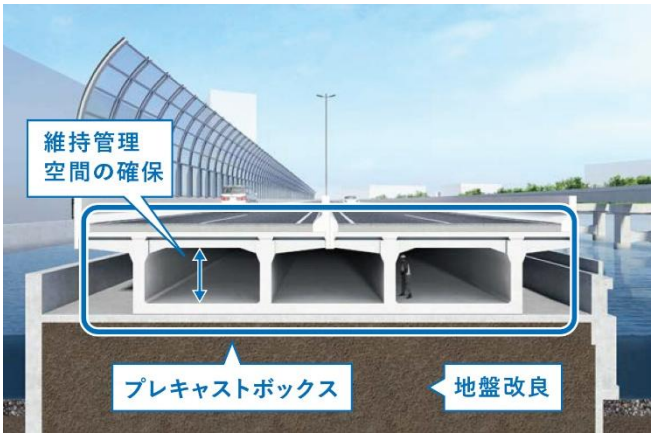




鮫洲埋立部区間

・中空のプレキャストボックス構造を採用し、耐久性・維持管理性の向上を図ります。

・エポキシ樹脂で被覆した鉄筋を採用し、コンクリートの耐久性向上を図ります。



【1羽田線（東品川桟橋・鮫洲埋立部）更新事業の進め方】

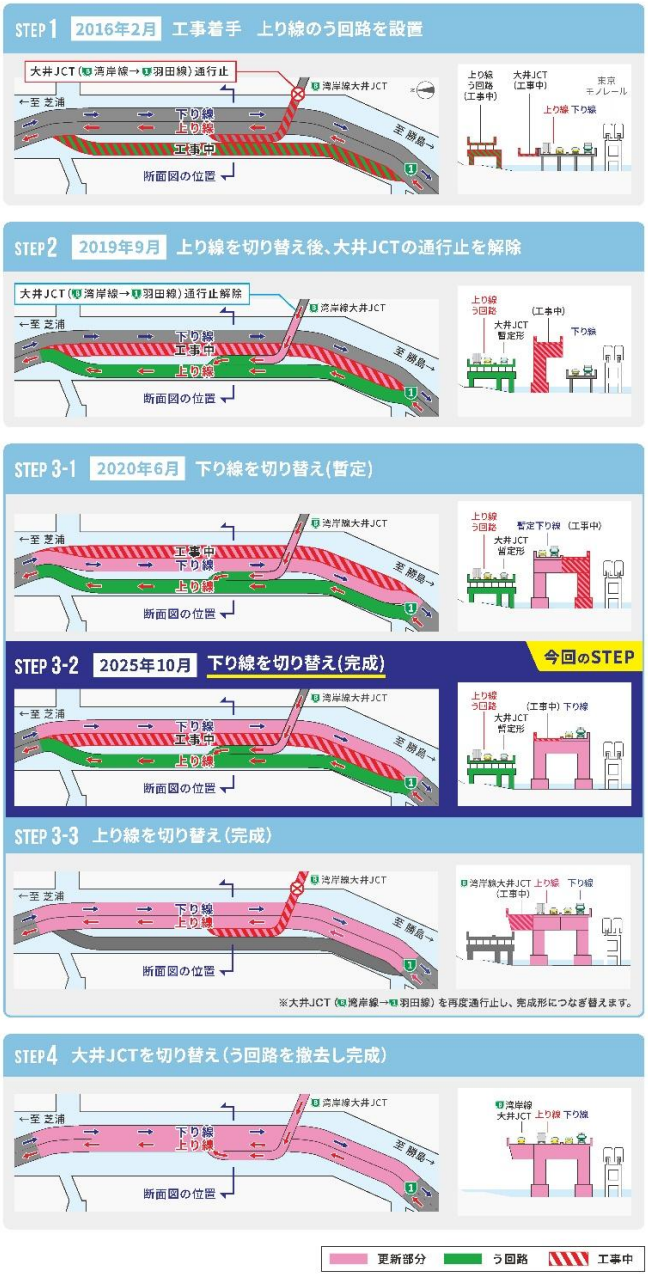
・更新に際しては、施工時の交通影響を最小限に抑えるため、う回路を設置し、可能な限り通行止めをすることなく、段階的に交通を切り替えながら造り替えています。

・1羽田線（下り）は、2020 年 6 月に将来上り線となる更新上り線に交通を切り替え、旧下り線を撤去、将来下り線となる更新下り線の工事を進めてきました。

・今般、更新下り線の完成に伴い、2025 年 10 月 29 日（水）午前 1 時に1羽田線（下り）の交通を更新線に切り替えます。（荒天等の場合は、翌日以降同時刻に延期）

・1羽田線（下り）の交通切り替え後は、1羽田線（上り）の更新線への切り替えに向け、引き続き工事を進めていきます。

【1羽田線（東品川桟橋・鮫洲埋立部）更新事業　施工ステップ】

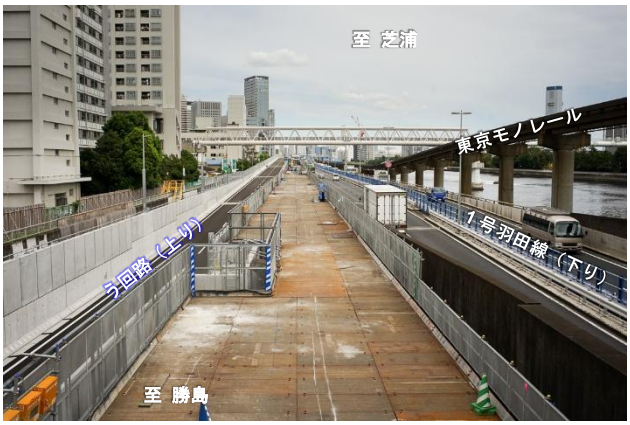


【1羽田線（東品川桟橋・鮫洲埋立部）更新事業　工事状況写真】

これまでの工事の変遷

東品川桟橋部

2016 年 2 月　工事着手



2017 年 9 月　う回路完成（上り線切替）

2020 年 6 月　更新上り線完成（暫定下り線の運用開始）

現在の状況（2025 年 8 月時点）

鮫洲埋立部

2016 年 2 月　工事着手

2017 年 9 月　う回路完成（上り線切替）

2020 年 6 月　更新上り線完成（暫定下り線の運用開始）

現在の状況（2025 年 8 月時点）